

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

—— 地域で活発な活動団体を紹介します! ——



第36号

令和6年3月発行

清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部県民生活課
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市数田南2-1-1(県庁9階)
電話 058-272-8199

44 北方町社会福祉協議会 (北方町)

活動地域: 北方町 活動拠点: 「北方町社会福祉協議会」 会長: 鷲見 正行

地区の概要

北方町は、東西1.85キロメートル、南北4.2キロメートル、面積5.18平方キロメートルと町全体が南北に細長くなっており、古き伝統に育まれた歴史や文化の町として、教育や社会福祉をはじめとする町民の住環境の整備を積極的に推進したことにより、人口密度が県下有数となっている地域である。

【地区データ】 令和6年2月1日現在
人口: 18,666人 世帯数: 8,065世帯

北方町社会福祉協議会とは

1966年 任意団体として発足。
1978年 法人化し現在に至る。

- 地域福祉推進事業
みんなのお家の運営、ボランティア支援など
- ふれあい交流事業
福祉フェスティバルなど
- なんでも相談事業
日常生活自立支援事業、障がい者基幹相談支援事業など
- 障がい福祉サービス
- 介護保険サービス など

活動事例

男性向け講座

男性の地域デビューのきっかけづくりとして、新しい趣味を見つけ、同じ趣味を持つ人と知り合うことができる講座を開催。料理教室やそば打ち教室、コーヒーの淹れ方講座など幅広い年代の男性が参加。



蕎麦づくりに挑戦



料理教室

住民へ福祉講演会

地域福祉啓発事業として、講演会を毎年開催。地域の皆で福祉について学び、考える機会を設ける。

今回のテーマは「寄り添う心について」。222名が参加した。

「支援する・される」の関係ではなく、みんな誰かの役に立ちたい。お互い様がちょうどいい。」という関係の築き方を皆で考え直す機会となった。



講演会の様子

ボランティア養成講座

ボランティアに興味のある人が気軽に参加できるよう、ボランティア養成講座を毎年開催している。今年度は延べ76名が参加した。

「ボランティア」って何するの…と身構えてしまう人も多いけれど、ちょっとしたことが誰かの役にたち、まわりまわって自分のためになることを学べる。



『すきを変えてみる活動
~おっと、そこはワタシの出番だ講座~』



ボランティア体験の様子

SNSで情報発信 ~多くの方に身近に感じてもらう~

“きたがた社協だより”を年4回発行している。子供たちの様子や高齢者の活動、講座の案内など幅広く掲載。また、SNSにて旬な話題も発信している。



LINE



Instagram



FaceBook





いつでも誰でもつながれる

みんなのお家



“みんなのお家”とは、集まることでふれあい生まれ、誰かのために何かをすることで生きがいを感じ、人とかわることで助け合いにつながることをコンセプトにした北方町の地域の拠り所である。



子ども食堂 (月1回)

地域のボランティアが、温かい料理で迎えてくれる。子どもから大人まで誰でも利用できる食堂で、皆でおいしいご飯を囲むことにより、自然と笑顔があふれ出る場所となっている。



※地域ボランティア・近隣住民・企業から支援・協力

ラジオ体操 (週1回)

毎週水曜日に開催。毎回、住民約20名が参加する。取材時、声をかけてくれた参加者のカード (北方町社会福祉協議会より配布) にはスタンプが集められていた。

スタンプを10個集めるとお家カフェ「あ・うん」の飲み物と交換できるお楽しみ付。



ラジオ体操の様子

楽しく健康に!『楽健(らっけん)』(月1回)

町内の介護施設のスタッフが筋力をつける為の体操と健康に関する講話を行う。地域の皆で心と体のリフレッシュを図り、笑顔と元気の輪を広げる。



セラバンドを使った体操

おうちカフェ「あ・うん」(週3回)

“大好きな北方町のために何か始めたい”

同じ思いを持つメンバーが集まった生活支援ボランティア団体「北方くらし助け愛隊」による地域交流カフェ。コーヒー・紅茶(お菓子付)を1杯100円で提供する。散歩途中など、誰でもふらっと立ち寄れる。

このカフェに集まる住民は、自然と顔見知りになり、たわいもない会話を楽しむ。「お客さんが、カフェや町で声をかけてくれる時、本当に嬉しい。」とカフェスタッフは話す。

スタッフ同士も互いを思いやり、「ありがとう」がたくさん飛び交う、誰もが居心地のいいカフェである。



会話が飛び交う“あ・うん”の様子

地域伝統行事と共に

毎月21日の弘法大師の命日に、門前市を開催。北方町社会福祉協議会職員とボランティアによりこの門前市でカフェを開いている。毎回40名~50名ほど集まり大人気である。また、北方町子ども館スタッフによる門前市移動子ども館を2か月に1回開催。親子で楽しめる工作などを提供し、子どもたちで賑わう。



簡単にできる親子工作

他にも、住民主体活動への支援、木育教室等を実施し、子どもから大人まで集える場所を目指している。

人と出会い、新しい発見ができ、ワクワクが生まれる場所となるよう、日々皆でアイデアを出し合っている。



取材を終えて

北方町社会福祉協議会は、安心して住めるまちづくりのために、住民、ボランティア団体、北方町役場、地域包括支援センター等とチームとなって皆で考えを出し合い、活動し、仲間づくりを行っていました。

同協議会の職員の方から「多くの方と本気で考え、それを形にできることが北方町社会福祉協議会の魅力、やりがいです。」とお話頂いたことが、とても印象的でした。

関係者の皆様、取材にご協力頂き、ありがとうございました。

ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

住民の皆さんによる地域づくりを応援しています。地域が抱える課題の解決に向けて取り組んでいる団体に対し、指導・助言等を行うアドバイザー等を派遣しています。

地域の課題解決応援事業

- 例えば…
- 高齢者の見守り活動を行いたい
 - まちづくり活動を活発にしたい
 - 地域で防災について学びたい
 - 地域づくりワークショップを開きたい

